

## 兵庫県立森林大学校のご紹介

森林資源が充実する一方、林業従事者の減少が続く中、森林林業の即戦力となる者、次代のリーダーとなる者、地域貢献できる者の育成をめざし、平成29年4月に兵庫県立森林大学校は開校しました。森林林業を専門に学ぶ学校教育法に基づく2年制の学校で、卒業時に専門士（森林林業課程）の称号が付与されます。

本校の特徴は、森林環境教育や鳥獣対策等森林について幅広く学べることです。大学と異なり、講義や研究だけでなく、授業の半分が実習で、林業に必要な資格に加え、樹木医など17種類の資格取得ができます。

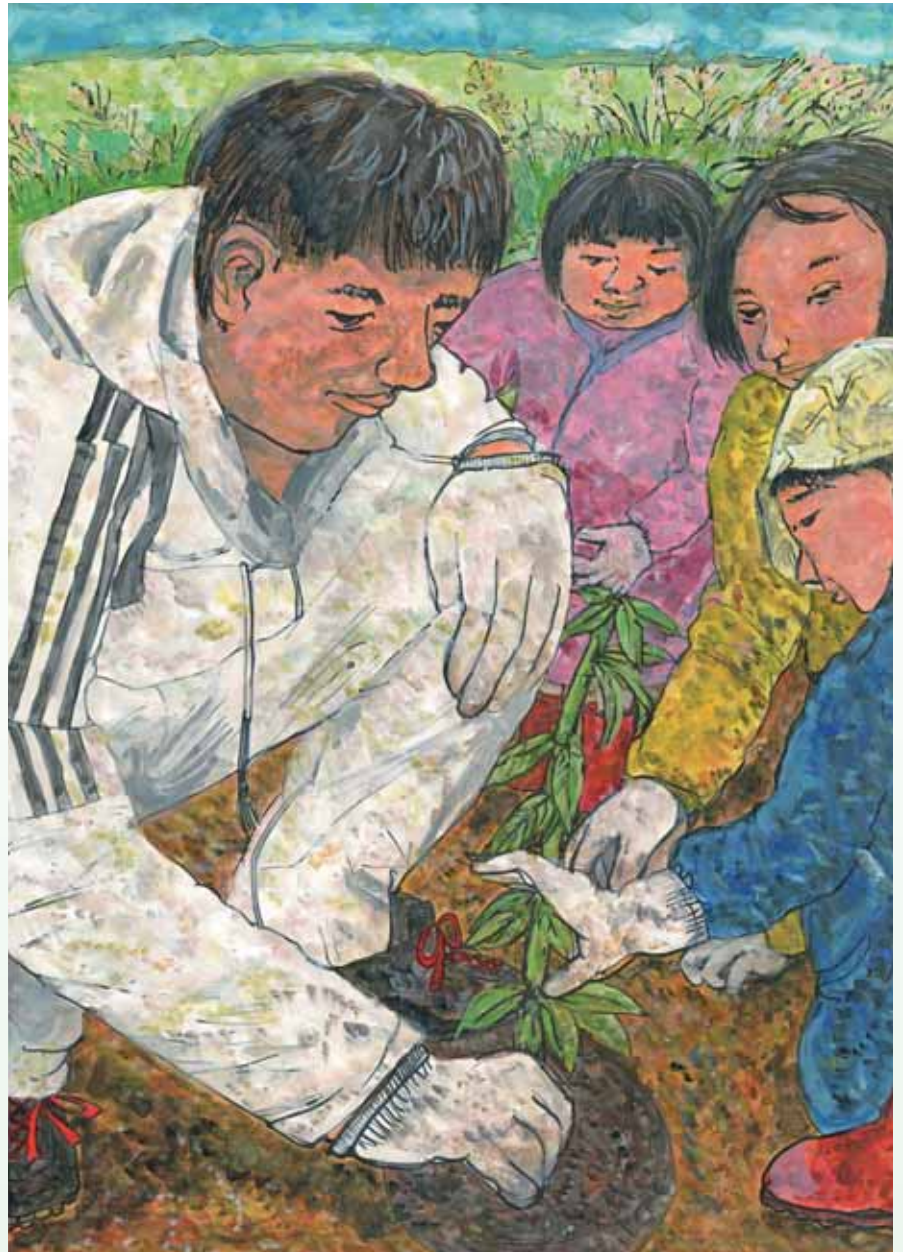
2年生では、林業や地域の課題を自ら調査研究する卒業研究や、林業先進国であるオーストリアの海外研修を通じて、生物多様性・森林の防災力・観光等の機能に配慮して効率的に木材生産を行う持続可能な森林経営のための国際的な広い視野を養います。また、長期のインターンシップでは林業という仕事の厳しさや、やりがいを体験し、就業のマッチングとするなど、多彩なカリキュラムを設定しています。

現在、専攻科では、1年生と2年生あわせて36名の学生がおり、うち女性は4名です。高校卒業後すぐに入学した者が20名、大学や社会を経験して入学した者が18名で、10代から40代まで幅広い年齢の学生がいます。出身は、県内出身者が28名（播磨16名、神戸・阪神10名、但馬丹波1名、淡路1名）、県外出身者8名（大阪5名、京都1名、岡山1名、熊本1名）など

広い地域から学生が集まっています。ほとんどの学生が森林・林業とは直接、関係のない家庭の出身者です。

今年はじめて14名の卒業生を世に送り出します。大学へ編入学する者が1名いるほか、森林組合等の林業関係6名、製材・チップ加工等の木材関係3名、造園緑化や森林調査等の森林関係2名、自営1名、県林学職1名です。卒業生の今後の活躍が期待されます。

研修科では、既に林業に従事している方々の学び直しなど高性能林業機械やドローン、ICT等の高度化研修を行っ



国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール特選 農林水産大臣賞  
佐伯 和香さん 播磨町立播磨中学校 1年（応募時）

ています。また、県民の方々を対象に森林に興味や関心を持っていただくため、森林セラピーやジビエ料理等の一般研修を行っています。研修科の研修は、その都度、ホームページ等で募集する短期の研修で、皆様のご予定にあわせてお申し込ただけます。

今後とも、皆さんからのご意見、ご要望を参考に、新たな科目や研修を企画するなど、次代の森林林業の担い手の育成と地域貢献できる開かれた大学校を目指して参ります。

兵庫県立森林大学校長 築山 佳永



# ひょうご森づくり活動賞受賞団体のご紹介

## 森林ボランティア部門 「<sup>しづれ</sup>紫微嶺里山を楽しむ会」

当紫微嶺（シブレ）里山楽しむ会は、平成13年神戸市西区押部谷町木津地内の個人所有の小さな里山を『楽しみながら森づくり、人づくり、そして次世代へ・・・』をキャッチフレーズに有志6名で活動を開始しました。

現在のメンバー17名、賛助メンバー5名、年齢層30代～80代、男女比率65：35と絶妙なバランスです。

活動当初3年間はKSC（神戸シルバーカレッジ）OB4名が作業応援に参加していただき、陽ざし差し込む里山を目指して喬木、杉、松、竹などひたすら伐採に明け暮れた活動でした。

活動2年目、植栽地500㎡を皆伐後、「そまのこ林業女子会@兵庫」に応援をいただき、100本の少花粉杉の植栽に取組みました。年2～3度の下草刈り続け、約60%が元気に生育中です。

3年目から発達障がいグループや女性の参加に伴い、東屋、耐火煉瓦使用の本格ピザ釜、落ち葉堆肥、薪などを皆で手掛けると共にイベント開催が増えました。

平成29年から『健全者も障がいをもつ人も一緒にたのしめる里山づくり』として、車イス搭乗者も楽しめる道（歩道）づくりを進めています。

平成30年から竹林整備を兼ねて『阪神淡路大震災・東北大震災慰霊の竹灯ろう』づくりの協力を開始しました。また、予想だにしない「ひょうご森づくり活動賞」を受賞し、これを励みの一つに、今後とも単なる里山整備活動から、シブレに訪れる人々に「安らぎ・元気・喜び」を感じていただける活動へ繋いでいきたいと思えます。



車イス道



親子で楽しむソーメン流し



手話による絵本読み聞かせ



ニホンミツバチのハチミツ

伐倒作業

## 企業の部門 「川崎重工株式会社」

### 企業の森活動 「川崎重工 なごみの森」活動について

弊社は平成21年4月から多可町で企業の森づくり活動をはじめ、今年で11年目を迎えました。この森づくり活動は従業員とその家族を対象に環境保全の意識の向上、次世代への環境教育などを目的として活動をしています。

このような継続的な活動が評価され、昨年11月に開催されたひょうご森のまつりにおいて企業では初となる「ひょうご森づくり活動賞」をいただけることになりました。

せっかくの機会でもありますので、弊社が行ってきた活動を簡単ではありますが、この紙面をおかりしてご紹介したいと思います。これからも多くの従業員とその家族に自然環境に触れる機会を提供していきたいと考えていますので、今後も活動が続けられるよう関係者の皆様のご支援を引き続きよろしくお願いたします。

〈平成21年4月～平成26年3月：西谷公園（多可町）

西谷公園での活動では、風通しをよくし森を明るくすることでさまざまな生物の住める豊かな森を

ざし、増えすぎた常緑樹の除伐・間伐のほか、コナラやアカマツを中心に植樹（約1,500本）を行いました。

〈平成26年4月～現在：多可町余暇村公園（多可町）

平成26年4月から同じ多可町内にある多可町余暇村公園に活動地を移し、森づくり活動を行っています。ここでは台風で倒れた木や松くい虫で枯れた松を伐倒し、たくさんの人が楽しめるような明るい落葉広葉樹の森にするため、コナラやヤマザクラなど中心に44種、約1,300本の植樹をしました。参加者には除伐や間伐や下草刈り、また植樹した木々の管理（支柱などの修繕）を中心に活動を行っています。平成26年に植樹した木々は2m近くまで成長しており、これからの成長が楽しみでもあります。この活動には子供から大人まで幅広い年齢の方が参加をしています。また、この森づくり活動に加え、環境教育として自然観察会や木工教室、鳥の巣箱づくりなど自然とのふれあいを通じて森の役割や自然に触れ合うことの大切さを学んでもらっています。



参加者との集合写真



巣箱づくり



紙漉き体験



下草刈りの様子

# 緑の募金事業成果発表会を開催しました

「緑の募金」にご協力いただきました県民や企業の皆様に地域の森林整備や緑化にどのように活用されているのかについて情報提供する「緑の募金事業成果発表会」を平成31年2月11日（月・祝日）に開催しました。この発表会は「緑の募金」への理解を深めて募金活動をさらに広げるとともに募金を活用して活動に取り組んでおられる団体とのつながりを育み、情報共有を進めていくことを目的としています。

当日は休日にもかかわらず企業や森林ボランティア団体をはじめ県下各地から約50名の方にご参加いただきました。

はじめに平成30年に多額のご寄付をいただいた企業・団体に、国内外の森林・みどりの推進へのご貢献に対して、(公社)国土緑化推進機構からの贈られた感謝状を藤澤理事長からお渡ししました。当日は3つの該当企業・団体のうちダイドードリンコ株式会社西日本第一営業部神戸オフィス様、株式会社神戸ポートピアホテル様が受け取られました。

続いて、林業女子会@京都 副代表の松田直子さんから「林業女子から見た森づくりと木のある暮らし」と題した講演を行っていただきました。



林業女子会@京都 副代表の松田直子 さん



林業女子会@京都は、女子のチカラで林業を盛り上げた

い、林業を愛する林業女子を増やしたいとの想いで、林業に関わっていた女子が集い平成22年に発足し、今講演では、女子力（瞬発力・発想力・共感力）の発揮等、新たな視点からの森づくりの展開や森を支えることに繋がる木の利用促進についてのヒントとなるお話をいただきました。



(公社)国土緑化推進機構理事長賞  
ダイドードリンコ株式会社  
西日本第一営業部神戸オフィス様



(公社)国土緑化推進機構理事長賞  
株式会社神戸ポートピアホテル様

講演の後は、募金を活用して森林整備や緑化活動を実施した4活動団体の代表者から募金事業の成果や活動の概要、課題等を発表していただきました。

4団体の発表終了後、兵庫県立南但馬自然学校校長の服部保先生をコーディネーターに、パネリストは講演講師と発表者が加わり、会場からの質問に回答する形でパネルディスカッションを行いました。

発表者や参加ボランティア団体共通の課題となる新しいメンバーの獲得方法や活動費用の調達方法を中心にディスカッションを深め、次代を担う子供たちのため、これからも地域に根づいた活動としてしっかり継続していくことを確認しました。

最後に神戸学院大学客員教授で、当協会の運営協議会委員長を務めていただいている上羽慶市先生より発表会を通じてこれからの活動の発展をめざすに当たり、留意すべき観点（創造性、楽しさ、動機付け、実行力、主体性、地域づくり等）から講評をいただきました。

今後とも、「緑の募金」にご協力いただいた皆さまに対して、募金の成果を目に見える形でお伝えしていきますので「緑の募金」への一層のご協力をお願いします。



NPOあいな里山茅葺同人  
星島 明 さん



渓の桜を守る会  
西澤 孟治 さん



山口里山活性化委員会  
内藤 博行 さん



太市の郷  
崎谷 久義 さん



服部保先生



服部保先生とパネリストによるパネルディスカッション



上羽慶市先生





# 平成30年度緑化作品コンクールの結果



緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校・高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。応募点数は、緑化ポスター原画の部1,247点、緑化標語の部1,888点、そのうち入選点数はポスター原画の部33点、標語の部18点でした。特に優秀な作品をご紹介します。

## ポスター原画の部

小学生の部1席



播磨町立播磨西小学校  
3年 瀧野 章仁さん(応募時)

中学生の部1席



尼崎市立小田北中学校  
1年 徳田 蕾杜さん(応募時)

高校生の部1席



兵庫県立上郡高等学校  
2年 高田 梨花さん(応募時)

## 標語の部

小学生の部1席

福崎町立田原小学校  
6年 中安 優月さん(応募時)

「美しい  
命生みだすこの緑」

中学生の部1席

加古川市立中部中学校  
3年 永野 さくらさん(応募時)

「守ろうよ  
豊かな自然は郷土の誇り」

高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校  
2年 高橋 幸多さん(応募時)

「小さな緑が世界を包み  
花咲く未来を色づける」

国土緑化運動・育樹運動コンクールの結果 県コンクール上位作品を(公社)国土緑化推進機構が開催する全国コンクールに応募しました。

## 国土緑化運動・育樹運動コンクールポスター原画の部



特選 農林水産大臣賞  
播磨町立播磨中学校  
1年 佐伯 和香さん(応募時)



準特選・林野庁長官賞  
兵庫県立上郡高等学校  
2年 高田 梨花さん(応募時)



入選・国土緑化推進機構理事長賞  
播磨町立播磨西小学校  
3年 瀧野 章仁さん(応募時)



入選・国土緑化推進機構理事長賞  
姫路市立四郷小学校  
3年 三好 佑善さん(応募時)



## 「緑の募金」にご協力をお願いします

森と緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金などの「緑の募金」を県下各地域で行っています。

### ご寄付の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振り込みをお願いします。

#### ● 郵便振込

郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。(手数料不要：協会負担)

#### ● 銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所  
普通 3198438 (手数料必要)  
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会



### 募金運動の期間

春季 3月1日～ 5月31日  
秋季 9月1日～ 10月31日

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 〒650-0012  
神戸市中央区北長狭通5丁目5-18  
TEL 078 (341) 4070 FAX 078 (341) 4071  
URL : http://www.hyogo-green.net/

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

